

お帰りなさい、尚絅へ

第1回 ホームカミングデー

SHOKEI HOMECOMING DAY

平成25年5月18日(土) 10:00~16:00 受付 9:00~ 九品寺キャンパスの正門

両キャンパス合同 10:00~
オープニングセレモニー

会場: 九品寺キャンパス [尚絅アリーナ]

○楡木キャンパスでのイベントは13:00からの開催となります
※九品寺キャンパスから楡木キャンパスへの移動はシャトルバスを運行予定
※ご都合により九品寺キャンパスで受付がお済みでない方は
13:00から楡木キャンパスでも受付をいたします。

九品寺 キャンパス 10:00~

尚絅大学 [生活科学部]

- 記念授業
- 同窓生との交流
- キャンパスツアー

尚絅大学短期大学部 [総合生活学科/食物栄養学科]

- 記念授業
- 抹茶のサービス
- キャンパスツアー

尚絅高等学校 尚絅中学校

- 制服コーナー
- 交流広場
- 展示・お茶席・グッズ販売
- バザー・模擬店
- 記念授業
- キャンパスツアー
- クラブ活動見学



楡木 キャンパス 13:00~

尚絅大学 [文化言語学部]

- 記念授業
- 同窓生との交流
- 展示コーナー
- キャンパスツアー



尚絅大学短期大学部 [幼児教育学科]

尚絅大学短期大学部附属幼稚園

- 先生・参加者による意見交換会
- 展示・喫茶コーナー
- 記念講話
- キャンパスツアー



後 塞

九品寺キャンパスの校門を入ると、先ず目に付くのが、正面の「内藤儀十郎翁」の胸像である。創立者である佐々友房翁の趣意を受け、本学園が今日125年を迎えるに至る礎としての初代校長である。時あたかも幕藩体制が崩壊し、わずか21年目で、当地に女子教育が産声をあげたことに対し、明治の先達たちのあくなき挑戦の心と変化を恐れず常に先に進むという揺るぎなき決意に驚愕する。その後、明治・大正・昭和・平成と幾多の激動荒波にもまれながらも、県内唯一の女子総合学園として存在し、その使命を脈々と受継いできた。しかし、現在の学園の状況を考えると、果たして、良き伝統や文化が継承されてきたのか、変化に対応し集中と選択による計画や実行はなされたのか、解は、現在の私たちが握っている。本学園が今後も発展していく時、思い起こされる言葉に、ダーウィンの「この世界で生き残れるモノは、最も力の強いモノではなく、最も賢いモノでもなく、それは変化に対応できるモノだけである」がある。 H.K

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚絅学園 編集スタッフ/黒瀬英夫 左座誠司 長谷川新吾 古澤千鶴
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚絅大学 尚絅大学短期大学部
尚絅高等学校 尚絅中学校 (中高一貫)
尚絅大学短期大学部附属幼稚園



尚綱らしく、 あたらしく。

創立125周年を迎えて

尚綱学園は、明治21年に創立された済々黌附属女学校を源として、長い歴史を積み重ね、本年創立125周年の記念すべき年を迎えました。

近年、我が国は少子高齢化、グローバル化の進展、産業・就業構造の変化など社会構造が急速に変化しつつあり、それに伴い学校も改革を迫られています。本学園では、将来に向けての革新の第一歩として位置付けて実施してきました九品寺キャンパスの再開発事業が本年3月に完了しました。本年度からは、創立125周年を機に策定した「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」に則って、改革を着実に進めてまいります。計画では、目指す学園像として、「智と徳を兼ね備え、社会に貢献できる自立心豊かな近代女性の育成を目指す学園」、「尚綱で学んで良かったと学生・生徒・卒業生が真に思う学園」、「地域で存在感のある学園」の3つの将来像と5年後、10年後の到達目標を定めています。計画初年度に当たる本年度から、教育内容の改革と尚綱らしさの追求、学修意欲あふれる学生・生徒の確保、学生・生徒支援改革等の各到達目標を達成すべく策定した施策を、学園の総力を結集して実施してまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

学校法人 尚綱学園理事長 **池満 淵**

尚綱アリーナ
(2012年12月完成)

尚綱学園 理事長
池満 淵

尚綱中学・高等学校 校長
甲斐 正哉

尚綱大学・尚綱大学短期大学部 学長
大羽 宏一

vol.18 CONTENTS

創立125周年を迎えて	巻頭
125年のあゆみ	3
私も、お母さんも、お祖母ちゃんも尚綱学園	6
学校紹介	7
尚綱キャンパス	11
尚綱コレクション	12
九品寺キャンパス再開発事業	13
尚綱学園の長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画	15
125周年事業の主な実施内容	17

尚綱の原点と未来

「錦を衣て綱を尚ふ」

尚綱

華やかな錦の衣装を着てもそれを直接表に表さない謙虚で奥ゆかしい心構えを持つ女性の徳をうたった言葉です。

1888年

(明治21年)

佐々友房らにより済々黌附属女学校として創立。



創立者 佐々友房



初代校長 内藤儀十郎

1889年

(明治22年)

昭憲皇太后より御歌を下賜される

1891年

(明治24年)

済々黌より独立し尚綱女学校と改称

1920年

(大正9年)

現在の九品寺に移転

1928年

(昭和3年)

尚綱中学・高等学校の旧制服を制定



制服制定

1929年

(昭和4年)

尚綱五箇条を制定



1931年

(昭和6年)

県下女学校の代表として昭和天皇行幸



天皇行幸



天皇行幸記念館

1940年

(昭和15年)

現在の中学・高等学校の校旗を制定



1947年

(昭和22年)

学制改革により尚綱中学校発足

1952年

(昭和27年)

熊本女子短期大学開学家政科を設置

1960年

(昭和35年)

創立70周年記念事業として体育館落成



九品寺体育館

1967年

(昭和42年)

熊本女子短期大学家政科を家政科家政専攻と家政科食物栄養専攻に分離

1968年

(昭和43年)

熊本女子短期大学幼児教育科を楡木キャンパスに設置

1969年

(昭和44年)

熊本女子短期大学附属幼稚園開園



尚綱大学楡木1号館

1975年

(昭和50年)

尚綱大学開学、文学部(国文学科・英文学科)を設置
熊本女子短期大学を尚綱短期大学、同附属幼稚園を尚綱短期大学附属幼稚園に改称



1985年

(昭和60年)

全国植樹祭にて昭和天皇の御前でマンドリンの演奏を披露
昭和天皇より御製を下賜される

1988年

(昭和63年)

尚綱高等学校管理棟落成
創立100周年記念式典挙行



尚綱中高校1号館

2005年^(平成17年) 附属幼稚園園舎竣工



附属幼稚園園舎

2006年^(平成18年) 尚綱大学九品寺1号館竣工

尚綱大学生活科学部栄養科学科設置
文学部国文学科及び英文学科を文化言語学部文化言語学科に改組
尚綱短期大学を尚綱大学短期大学部、
幼児教育科を幼児教育学科と改称
家政科を総合生活学科と食物栄養学科に改組



尚綱大学九品寺1号館

2011年^(平成23年) 個々の可能性を伸ばす 中高一貫コースを新たにスタート

2011年^(平成23年)

大学図書館を含む8階建て中高校2号館完成。
宿泊施設などを完備した「尚綱学舎」も完成



尚綱中高校2号館

尚綱学舎

2012年^(平成24年)

「尚綱アリーナ」が完成



尚綱アリーナ

2013年^(平成25年)

学園ロゴマークを制定
尚綱中学・高等学校の新制服を制定



SHOKEI



私も、お母さんも、 お祖母ちゃんも尚綱学園



娘 細川 慈末さん 尚綱中学3年生
智未さん 尚綱中学1年生
母 理加さん 尚綱高校卒(昭和60年)
祖母 カツ子さん 尚綱高校卒(昭和30年)

現在、中学3年生の慈末(なりみ)さんと、1年生の智未(さとみ)さん。「女性としての教養をしっかりと教えてくれた母校に、娘たちを通わせたい」という母・理加さんの勧めもあり、この学校を選びました。お姉さんの慈末さんは、琴や和装礼法などに興味が有り、妹の智未さんはピアノが得意。祖母のカツ子さんは「自分の好きなことを、中高6年間という安定した環境の中で、じっくりと伸ばしてほしいですね」とほほえみます。

娘 黒木 美沙さん 尚綱大学短期大学部卒(平成24年)
母 弓枝さん 尚綱短期大学卒(昭和58年)
祖母 高橋 敦子さん 熊本女子短期大学卒(昭和30年)
※現尚綱大学短期大学部

「幼児教育に携わりたい」という夢を持っていた美沙さん。母・弓枝さんと、祖母・高橋敦子さんは「自由な環境で、2年間のびのびと学んで欲しい」と、母校である尚綱大学短期大学部を進めました。「ここで学んだことで、広い視野が養われました。将来は、幼児だけでなく、障がい児の手助けができるような仕事ができれば」と、夢が広がります。



娘 松下 美紀さん 尚綱大学生活科学部
栄養科学科(4年生)
母 容子さん 尚綱短期大学卒(昭和61年)

「尚綱のいいところは、社会に出たときに困らないようにしっかりと指導して下さるところです」と語る娘の美紀さん。「学問だけでなく、“20分前に出勤する”などの社会人としての心得や、書類の書き方、さらにお化粧の仕方まで、細かく指導してくれます」と語ります。幼稚園教諭である母・容子さんは、「職場にいる尚綱出身の先生たちは、心根が優しく気配りができる人ばかり。娘もここで学ぶことで、女性らしさを身につけた社会人になって欲しい」とエールを送ります。



尚綱大学



文化言語学部 文化言語学科 榎木キャンパス

平成26年度入学生から、文化言語学部は次の3つのコースになります。

いずれのコースも先生と学生たちが活発にコミュニケーションをとれる環境を整えています。グループ学修や学外研修で学友と一緒に勉強や議論することで理解も一層深まるといえるでしょう。すべてのコースで少人数教育という考え方のもと、ゼミナール制を導入し、学生一人ひとりの個性を大切にしながら親身な指導を心がけています。

○「現代コミュニケーション」コース (平成26年4月新設)

社会で即戦力となる実践的なコミュニケーション能力を備えた女性を教育目標としています。具体的にはグローバル社会のコミュニケーションに欠かせない「語学」「情報」「社会理解」「マナー」を学ぶことにより、「女子・社会人力」を高めた女性の育成をいたします。そして、熊本や九州のみならず世界で活躍する企業人を目指します。



○「日本文学・日本語」コース (平成26年4月名称変更)

日本の文学や言葉の本質を極め、人間とは、人生とは何かを学んでいきます。具体的には「日本文学」「日本語」「日本文化」「創作鑑賞」等を学び、学修したことは多くの職種で役立ちます。特に中学・高校の教師(「国語」)として教壇に立つ人、日本語教師として国際交流の第一線に立つ人、図書館司書・司書教諭を目指す人には先輩も多く、最適なコースといえます。



○「書道」コース

書を生活に活かしたい、書道教師になりたいなど、それぞれの人がめざす道や夢に合わせて、少人数制で丁寧に指導します。多様な角度からの理論、実技の講義で感性を磨き、表現の幅を広げて豊かな心を育てていきます。大学書道展や学外展さらに各種公募展での作品制作や中国書の旅を通して、書の奥深い世界に触れます。



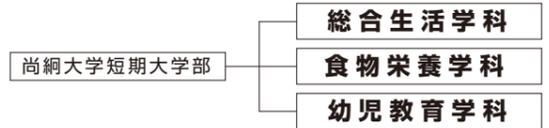
生活科学部 栄養科学科 九品寺キャンパス

多様な分野で実力を発揮する
専門性の高い管理栄養士を育成します。

栄養科学科は、主に管理栄養士を育成する学科です。具体的には、健康、保健、医療、福祉および介護の分野で活躍できる管理栄養士、生活習慣病など国民の健康課題に対応できる高度な専門知識と技術を持った管理栄養士などがめざす将来像です。「栄養サポートチーム」の一員として医師や看護師との協調性が特に重要視されていることから他職種との連携やチームワークに必要な協調性を有する管理栄養士の育成もめざしています。さらには、多様な職場で食品の品質管理、研究・開発に携わる人材の育成も目標です。学校教育の場で、児童・生徒の望ましい食生活形成の中心的役割を担う栄養教諭の育成にも力を注いでおり、「栄養教諭一種免許」を取得することができます。



尚綱大学短期大学部



総合生活学科 九品寺キャンパス

平成26年度入学生から、短期大学部総合生活学科は次の3つのフィールドになります。

総合生活学科では、「情報ビジネス」「福祉ウェルネス」「生活デザイン」の3つのフィールドから、学生の関心や興味に応じて自由に選んだ科目の単位を修得することが可能です。これにより、確かな実務能力と実践力を身につけた自立できる女性を育てます。

○「情報ビジネス」フィールド (平成26年4月新設)

広く社会で活躍する能力を身に付けるため情報技術を基本から学び、ビジネスやオフィスワークの知識を学びます。

○「福祉ウェルネス」フィールド (平成26年4月新設)

子どもから障がい者・高齢者までの福祉や健康分野の実践力と問題解決力を身につけるとともに地域貢献のノウハウを学びます。



○「生活デザイン」フィールド (平成26年4月新設)

社会で活躍するためにアパレルやインテリアを中心に、生活に根差した美しいデザインの知識・手法を学びます。

食物栄養学科 九品寺キャンパス

実社会の即戦力として活躍する有能な栄養士の養成を図ります。

「食物と栄養と健康」をキーワードに、専門性の高い講義・実験・実習・校外実習を通じて、社会の即戦力となる有能な栄養士を育てます。卒業後に管理栄養士を目指す人には研修会等でサポートし、毎年多数の合格者を出しています。また、本学生活科学部栄養科学科に編入学し、管理栄養士を目指すことも可能です。県下多くの栄養士が本学出身で、病院、保育所、学校、福祉施設などの各分野で卒業生が活躍しています。



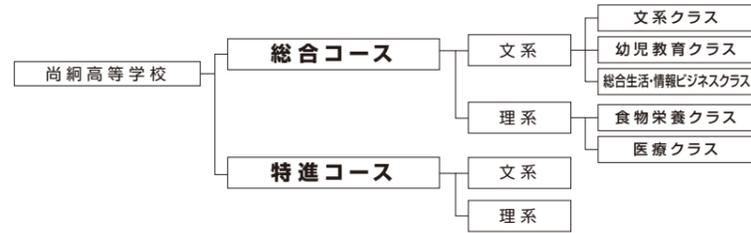
幼児教育学科 榎木キャンパス

保育現場との密接な連携で、
実践的な保育者としての能力を高めます。

子どもの心、遊び、発達、健康などについて理解を深め、子どもたちの健やかで豊かな生活、遊びを導く実践的な保育者としての技量を養い、人間性豊かな幼稚園教諭・保育士の育成を目指しています。保育現場と密接な連携によって毎年約90%が保育職に就くという高実績を残しています。学習に対する教員の様々な工夫、学生同士、学生と教員の活発な交流も大きな特色です。



尚綱高等学校



総合コース

目的に応じて、さまざまな可能性を選択できる総合コース。

総合コースは、それぞれの生徒が自分の目的に応じてさまざまな可能性を選択できるコースです。クラブ活動や生徒会活動、ボランティア活動、趣味などに力を注ぐことが可能で、多彩な取り組みをサポートします。それぞれが自分の目標に向かって一生懸命に頑張る、それが総合コースです。1年次には各教科を広く学び、基礎学力を身につけます。2年次には、自分の希望と適性に応じて文系か理系を選択します。文系では全教科を偏りなく学習することで、幅広い進路へ対応できます。また、理系では、理数系の科目が多く学習でき、確かな実力を身につけることが可能です。3年次になると、文系コース3クラス（文系、幼児教育、総合生活・情報ビジネス）と理系コース2クラス（食物栄養、医療）と、さらに専門的な5つのクラスに分かれます。また、尚綱大学との連携を強化し、大学の教授陣による実践的な講義も含め、生徒一人ひとりの個性や能力を大切にはぐむプログラムを提供します。



特進コース

高い目標を実現するため
少人数制で能力を最大限に伸ばす

特進コース（特別進学コース）は、国公立大学・難関私立大学などへの合格を目指し、生徒たちの能力を最大限に伸ばすことを目的としたコースです。月曜から土曜まで、朝課外を含め、1日8時間の授業と放課後の課外授業が行われています。コースは少人数編成で、より高い目標を実現するための学習環境を提供します。特進コースでの授業や課外により学力がどの程度定着しているのかを生徒自身が実感するために、Benesseの進研模試、河合塾、熊本県進連協の大学入試模擬試験を全員が受験します。そして1年次から実力を養成して、生徒各自の進路志望の実現を目指します。

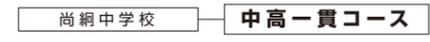


◎特進コースならではのサポート体制

特進コースでは、授業で力をつけると同時に、大学進学支援授業や勉強合宿、入学前特別課外など、さまざまな側面から生徒たちのやる気を引き出し、学習や進路をサポートします。

- ◆尚綱塾
- ◆e-Learning
- ◆尚綱ゼミ

尚綱中学校



中高一貫コース

生徒それぞれの可能性を6年間でじっくりと伸ばします

中高6年間という安定した環境の中で、豊富な時間をフル活用し、独自のプログラムにより、社会でたくましく生きる実践力を育みます。大学受験に対応できる十分な学力と、装道・華道・茶道などの日本文化や礼法、さらに高い英語力や次世代環境・エネルギーへの知識など、国際的に活躍できる人材の育成を目指します。



◆英語教育の推進

6ヵ年を通じた徹底した英語教育で、外国人と自由に話し合える英語力を養います。毎週2回、3名の外国人教師を加えた教師陣による、英会話の少人数レッスンを実施しています。尚綱学舎（セミナーハウス）での異文化交流研修や校外の英会話研修施設・大学などを活用した研修の実施など多彩なカリキュラムを用意し、英語表現力やコミュニケーション力を磨きます。

◆生命・環境・エネルギー教育の推進

環境問題や貧困問題など、世界が抱える課題について正しい知識を学ぶため、座学だけでなくフィールドワークを行っています。また、見学研修や体験学習などを通じ、国際感覚と環境に配慮した生活実践方法を身につけます。

◆装道・華道・茶道による徳育・情操教育の推進

装道・華道・茶道などの授業を取り入れ、日本文化や礼法、教養を身につけます。また、キャリア教育として、幼稚園職場体験やさまざまな施設を見学する校外学習などを通じ、豊かな人間性を育みます。



部活動

尚綱高等学校/部活動一覧

- 体育系** ●バスケットボール ●弓道 ●剣道 ●バレーボール ●陸上競技 ●水泳 ●卓球 ●ソフトテニス ●バドミントン
- 文化系** ●放送 ●美術 ●書道 ●合唱 ●華道 ●茶道（肥後古流） ●ギターマンドリン ●琴 ●E・S・S ●和装礼法
- 同好会** ●食物 ●漫画 ●軽音楽 ●文芸 ●写真 ●ボランティア ●表千家茶道
- 愛好会** ●吹奏楽愛好会 ●化学愛好会 ●将棋愛好会 ●ダンス愛好会



4月に東京NHKホールでおこなわれた「全日本きもの装いコンテスト世界大会」の学校対抗の部で優勝。個人の部でも1位に入賞した和装礼法部。

尚綱中学校/部活動一覧

- 体育系** ●剣道 ●バレーボール ●硬式テニス ●ソフトテニス ●新体操 ●バドミントン ●水泳 ●空手 ●弓道 ●卓球
- 文化系** ●書道 ●E・S・S ●華道 ●茶道 ●琴



尚絅大学短期大学部附属幼稚園

恵まれた自然環境の中でいきいきと遊び、心豊かな子どもに

昭和44年、熊本女子短期大学付属幼稚園として創立以来、自然環境を最大限に活かした保育を展開しています。尚絅幼稚園の保育は、成人になるための準備教育ではありません。幼児の幸せを願う幼児のための幼児教育です。自然の風情をそのままに活かした広い園庭には、小高い築山や畑、また平成17年に新築し、第11回(2005年)「熊本県木材利用大型施設コンクール」において熊本県賞を受賞した園舎は、木のぬくもりにあふれ、子どもたちの心と体の健やかな成長を支えます。澄み切った大空の下で、太陽の光を身体いっぱい浴びて、思う存分飛びまわる環境を子どもたちに与えることで、創造性や素直で思いやりのある心をはぐくみます。



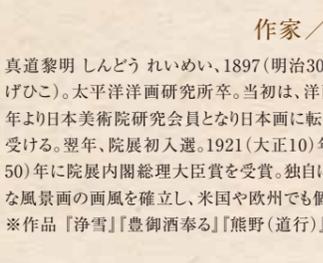
尚絅学園の2つのキャンパス

尚絅コレクション



作家／宇野 千里(うのせんり) 作品名／不開門

昭和時代の洋画家。1902(明治35)年9月1日生まれ。東京美術学校(現東京芸大)在学中の昭和2年、3年帝国美術院美術展覧会(帝展)で「風景」(両年とも同額)が入選。卒業後、東光会展を中心に光風会展、日本美術展覧会(日展)などに出品し、36年光風会会員、51年日展会員。熊本大学、熊本商科大学(現:熊本学園大学)の教授をつとめた。1993(平成3)年11月11日死去(91歳)熊本市出身。
 ※東光会:1932(昭和7)年設立の洋画団体 ※光風会:1912(明治45)年設立の洋画・工芸団体
 ■(熊本城)不開門(あかずのもの)…常時は扉を閉ざしていた不開門。この門は城の鬼門である北東に位置します。昔の陰陽道ではこの方角は塞いでも、開け放してもいけないとされ、門は造るが普段は閉ざし、不浄なものを運ぶときだけこの門を開いたと言われていました。



作家／真道 黎明(しんどうれいめい) 作品名／蘭

真道黎明 しんどう れいめい、1897(明治30)年～1978(昭和53)年。熊本県宇土市出身。本名は重彦(しげひこ)。太平洋洋画研究所卒。当初は、洋画を志し太平洋洋画研究所などで学んでいた。1915(大正4)年より日本美術院研究会員となり日本画に転向する。堅山南風、横山大観、安田靉彦、小林古径らに指導を受ける。翌年、院展初入選。1921(大正10)年に同人に推挙。以降、院展に出品を続け、晩年の1975(昭和50)年に院展内閣総理大臣賞を受賞。独自に中国、朝鮮に度々外遊して東洋美術の造詣を深め、神秘的な風景画の画風を確立し、米国や欧州でも個展を開くなど国際的にも評価された。
 ※作品『浄雪』『豊御酒奉る』『熊野(道行)』『宇宙のロマン』『飛天』(本校に同名の作品あり)



作家／土肥 樵石(どいしょうせき) 作品名／大堰川(おおいがわ)行幸和歌序(『土佐日記』)

天保12(1841)年10月11日生まれ。(1841-1915)土肥春曙(しゅんしょ)の父。もと肥後熊本藩士。和田耕雲、元田永学に学ぶ。のち元田の招きで上京、宮内省に入り、華族女学院(現学習院)の書道教師をつとめた。草書、仮名に優れた。幼名は章之進。名は直康(なおやす)。通称は宇宙。熊本の四大書家。
 ※大堰川行幸和歌序…宇多天皇の大堰川行幸のとき、紀貫之ら六人の歌人が奉った歌63首に、貫之がつけた序文。延喜7(907)年成立。天皇の治世をたたえた美文。歌は散逸して残っていない。(大堰川:京都桂川上流の称)
 ※紀貫之のきつらゆき…貞観14(872)年頃生～天慶8(945)年頃没。
 平安時代初期の日本の歌人。『古今和歌集』の撰者の一人で仮名序作者。その「仮名序」は彼の歌論として著名。著「土佐日記」「新撰和歌集」「大堰川行幸和歌序」、家集「貫之集」。



作家／井上 桂園(いのうえけいえん) 作品名／富士山 石川丈山詩

本名は若林政雄、桂園と号した。岡山県吉備郡備前(現真備町市場)に生まれる。丹羽海鶴(鳴鶴門)に師事し、岡山師範学校入学の後は大原桂南の教えを受け、大正11年19歳の時、史上最年少で文検習字科に合格。昭和14年36歳の時に広島高等師範学校の助教授となり、昭和26年からは文部省の委嘱により国定教科書の執筆にあたった。昭和24年から広島大学教授として数多くの人材を育て、昭和41年63歳の時に広島大学を定年退官し、安田女子大学文学部教授となり、平成2年87歳で同大学退官まで、25年の間、数多くの書道教員を教育現場に送り出し、書道の安田の地位を不動のものにした。
 全国大学書道学会会長、日本書道教育学会名誉会長、安田女子大学名誉教授、広島大学名誉教授に就任。
 ※楡木キャンパス「光島賢正胸像」の題字、「体育館記」

『尚絅アーカイブ』展示のご案内

125年の長い歴史を歩んできた尚絅学園の道程「尚絅アーカイブ」を、尚絅アリーナ1階(歴史ゾーン)及び中高校2号館2階ロビーホール(尚絅コレクションゾーン)にて展示します。歴史ゾーンでは、学園の歴史や時代背景、中学・高等学校制服の変遷などを時系列で紹介。尚絅コレクションゾーンでは、絵画や掛け軸、書などの優れた芸術作品を展示しておりますので、学園にお越しの際はどうぞご覧下さい。



尚絅アリーナ1階(歴史ゾーン)



中高校2号館2階ロビーホール(尚絅コレクションゾーン)

九品寺キャンパス 再開発事業竣工

平成22年7月から着手した九品寺キャンパスの再開発事業は、平成23年12月に大学図書館を含む8階建ての校舎「中高校2号館」と、4階建ての学園共用セミナーハウス「尚綱学舎」が完成し、平成24年7月には「大学6号館」、同年12月に2階建ての「尚綱アリーナ」が完成しました。そして、グラウンドや部室の整備を経て、3年に及ぶ九品寺キャンパス再開発事業は平成25年3月に竣工しました。これにより、九品寺キャンパスの学修環境は一段と整備向上され、革新の第一歩を踏み出しました。

中高校2号館

明るく開放的な8階建ての校舎には、多様化する授業形態に対応するため、ホームルーム、専門教室、図書館など、最新設備と教育機器が集約されています。



- 8F 特別教室(調理、被服、礼法、美術)
- 7F 特別教室(普通、理化学、生物、保健)
- 6F 普通教室(中学・高校)
- 5F 普通教室(高校)
- 4F 普通教室(高校)
- 3F 普通教室(高校)
- 2F 図書館(中学・高校)
- 1F 図書館(大学・短大)

南側

尚綱学舎(合宿所)



- 4F 宿泊施設
- 3F 会議室
- 2F 和室
- 1F サロン

大学6号館



- 2F 講義室、教員室他
- 1F 食品加工実習室、クラブ室他

再開発前



2010年2月撮影



2013年4月撮影

尚綱アリーナ

尚綱アリーナは、約2,000人を収容でき、体育施設として使用するほか、各種イベントやコンサート等を行うことができる2階建ての多目的施設です。



1F 多目的ホール(バスケットコート2面の広さ、ステージ)、武道場、シャワー室等
2F 観覧席(390席常設)、武道場、音響調光室、衣類乾燥室等



1F ホワイエ

1F 多目的ホール

1F ステージ

2F 観覧席

2F 武道場

1F 正面階段

1F 回廊

尚綱学園の長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画(概要)

～SEI Vision 2013-2022～

I 学園の目指すべき姿(将来像)

学園のミッションを実現するためのビジョンを定めるにあたり、目指すべき方向性として「3つの目指す学園像」を掲げています。この3つの目指す学園像は、学園を取巻く主要なステークホルダーが求める将来像を前提に、学園が「将来、かくありたい」という目指すべき姿を表現したものです。

【主要なステークホルダーが求める将来像】

学園が求める学生像⇒理想とする学生像
<ul style="list-style-type: none"> ・智と徳を兼ね備えた人材(建学の精神) ・尚綱らしさを体現する人材(教育理念) ・人類社会に貢献できる人材(学園の使命) ・自律的、主体的に行動できる人材 ・グローバル社会で活躍できる人材
(社会から求められる人材)
学生が求める学園像⇒学生の満足度
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質が高く、優秀な人材(教職員)が存在する学園 ・キャリア形成や資格取得に有利で、就職先が確保できる学園 ・施設設備を含めた教育環境が充実した学園
地域社会が求める学園像⇒社会からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学園 ・地域に貢献する学園 ・情報発信基地としての学園



II 5年後・10年後の到達目標と中長期行動計画

学園の5年後・10年後の到達目標を描き、その達成に向けた重点施策を中長期行動計画として取りまとめたものです。

1. 教育内容の改革と尚綱らしさの追求

智と徳を兼ね備えるとともに、尚綱らしさに加え、近代女性として自律的・主体的に行動する学生・生徒を数多く輩出し、地域の中堅の人材確保に大きく貢献している。

大学・短期大学部	中学・高等学校
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学部、学科の改革による入学定員確保 2. 新設学部・学科・大学院の検討 3. キャリア教育の実施と尚綱の教育理念の浸透 4. 幼児教育の改革論議(幼保一体化等)を踏まえ、今後、保育所や認定こども園などへの参入を計画 5. 東アジアを中心とする大学との提携を推進 6. サークル活動の活性化 7. 大学・短期大学部において、第三者評価への適切な対応 	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル化に則した海外修学旅行・研修・国際交流の推進 2. 基礎学力の確立 3. カリキュラムの検討及びコースの再編 4. 中高大学連携の推進 5. 人間教育プログラムの再構築 6. 部活動の活性化と進路保障 7. ボランティア活動の推進

2. 学修意欲あふれる学生・生徒の確保

社会的評価が確立され、大学・短大は、初等・中等教育課程の生徒が憧れ、中学・高校は、進学先として、また魅力ある学校としての大きなウエイトが置かれるなど、学修意欲あふれる学生・生徒が広く受け入れられている。

大学・短期大学部	中学・高等学校
<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様化した学生に対処した教育の一層の強化 2. 国家試験の合格率の向上 3. 出前授業、体験的な授業、オープンキャンパス、入試の強化 4. 同窓会・後援会との連携推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女子教育の長所・強みの広報活動の推進 2. 対外行事の内容及び広報活動の見直し 3. 広報活動の推進 4. 育友会との連携強化 5. 同窓会・後援会との連携推進

3. 学生・生徒支援改革

キャリア形成や資格取得に対する十分な支援がなされ、就業先が安定的に確保されている。

大学・短期大学部	中学・高等学校
<ol style="list-style-type: none"> 1. 奨学金制度、表彰制度の整備 2. 学生に対する健康相談、心的支援の強化 3. 就職支援の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特待生・奨学生制度及び表彰制度の改革 2. 進路相談・カウンセリングの充実

●尚綱学園の中長期財務計画

計画の目的 収支の改善と安定的な施設設備資金積立の実現

計画の前提条件及び計画終了時の数値

学生生徒園児数は、大学・短期大学部・幼稚園においては収容定員の充足を前提、高等学校は単独で収支均衡が可能な生徒数、中学校は現状実績を考慮して計画値とした。

学生生徒納付金は、学生生徒数の増加と施設設備資金改定の効果により、239,136千円増加すると見込んでいる。

帰属収支差額は学生生徒納付金の増加により、107,009千円の収入超過となり、202,073千円改善すると見込まれる。

施設設備引当資産・減価償却引当資産及び支払資金・短期有価証券を合計すると、1,399,679千円の自己資金増加が見込まれる。

	平成24年度想定値	平成29年度計画値	増減
学生生徒園児数	2,144人	2,390人	246人
教職員数	208人	203人	△5人
学生生徒納付金	1,495,634千円	1,734,770千円	239,136千円
帰属収支差額	△95,064千円	107,009千円	202,073千円
施設設備引当資産減価償却引当資産	300,000千円	1,700,000千円	1,400,000千円
支払資金及び短期有価証券残高	921,523千円	921,202千円	△321千円

4. 研究・指導力向上のための支援

社会の諸問題や地域の特定の課題に対し、種々の研究成果が上がり、その成果が地域や社会から高く評価され、かつ広く発信されている。

大学・短期大学部	中学・高等学校
<ol style="list-style-type: none"> 1. FD活動の一層の充実 2. 研究費の配分の適正化 3. 研究センターの新設 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導力向上のために組織的・計画的な研修を推進し、研修内容の共有化と実践の督励

5. 地域連携を視野に入れた教育・研究の推進

学園が有する知的資源が、社会の各層に直接的・間接的に幅広く提供され、地域社会にとって身近な存在となり、社会人教育に大きく貢献している。

大学・短期大学部	中学・高等学校
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域との教育・研究の推進 2. 地域に開かれた研究拠点ということを表明していく 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の諸活動の支援とボランティア活動の推進

6. 安定的財政基盤の確立

帰属収支が黒字基調を維持し、安定的な施設設備積立が実現している。効率的・有効的な経費配分がなされ、中長期計画の実現に寄与している。

法人部門
1. 収支の黒字化と安定的な施設設備資金積立の実現

7. 人事制度の改革

教職員の人事制度については、「任期制」「年俸制」「人事評価制度」等が完全に定着し、教職員が正当に評価される仕組みが完成している。

法人部門
1. 人事制度の確立と人材育成の仕組みづくりの実施

8. 組織・運営基盤の改革

理事長、各校長のリーダーシップのもと、社会状況の変化や教育研究機関を取り巻く環境の変化に的確かつ迅速に対応できるよう、不断に見直しが行われ、学園ガバナンスによる法人及び各キャンパスの事務執行が効果的・効率的に行われている。

法人部門
1. 学園の組織運営機能とガバナンスの強化

9. キャンパス整備、学修環境の整備

キャンパスや学修環境の整備が進められ、充実した教育研究環境と快適なキャンパスライフが全学生・生徒に提供されている。

法人部門
1. 学園キャンパスと学修環境の整備及び地域に開かれた学園の実現

125周年を機に 地域社会へ 発信力を 高めていきます。

125周年事業の主な実施内容

周年事業	記念式典
	記念講演会
	記念祝賀会
	ホームカミングデイ
	寄附活動
広報活動	周年記念誌
	資料データベース
	学園ロゴマークの制定
	125周年記念マーク
	125周年記念キャッチコピー
	125周年記念ラッピング電車

【記念式典】

【日時】平成25年5月1日(水) 9時30分開式
【会場】尚綱アリーナ

【記念講演会】

【日時】平成25年5月1日(水) 10時50分開演
【会場】尚綱アリーナ
【講師】細川佳代子氏
NPO法人勇気の翼インクルージョン2015 理事長
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 名誉会長
【演題】「花も花なれ、人も人なれ ～ボランティアの私～」

【記念祝賀会】

【日時】平成25年5月1日(水) 18時00分開宴
【会場】ホテル日航熊本

【第1回ホームカミングデイ】

【日時】平成25年5月18日(土) 10時00分開始
【会場】九品寺・楡木キャンパス

【寄附活動】

尚綱学園創立125周年を記念し、本学園が設置する各学校の学生・生徒に対する育英奨学金のため、卒業生をはじめ学園関係の有志・地域住民・企業等から幅広く寄附金を募集します。

【周年記念誌】

創立110周年から125周年までに重点をおいた周年記念誌を平成25年12月末に刊行を予定しています。

【資料データベース】

絵画や書などの尚綱コレクションを尚綱アリーナ1階及び中高校2号館2階ロビーホールにて展示いたします。



SHOKEI

【学園ロゴマークの制定】

尚綱の頭文字である「S」をモチーフに、建学の精神である「智」と「徳」を兼ね備えた2つのラインで表現し、2枚の衣がたおやかに重なり合う様子をデザインしています。さらに、校名の由来となっている「錦を衣て綱を尚う」すなわち、きらびやかな錦の上に薄物をかける様子を色の濃淡で表現しています。

【125周年記念マーク】

125の数字を囲む上下のラインは、125年の年輪(歴史)と未来への架け橋をイメージしています。



【125周年記念キャッチコピー】

尚綱らしく、あたらしく。

他学園とは一線を画す、独自の存在感を明確にし、創立125周年を機にこれからの尚綱らしさをどうアピールするか、という意味が込められています。これまでの歴史を語ることも必要ですが、他学園にはない125周年という長い歴史は多くの卒業生を有し、今後の発展的な力になると考えます。

【125周年記念ラッピング電車】

尚綱学園創立125周年を記念して、平成25年3月30日から新しいラッピング電車が発車しました。



【中高新制服】



襟
丸みのある襟が優しい印象のショールカラージャケット。ブラウスの襟元にはSK(SHOKEI)の刺繍入り。



白ひとすじ
ブレザーの襟やポケットには、白いパイピングが施されており、尚綱の校旗であり純潔を示す「白ひとすじ」を表現しました。



夏服セーラーブラウス
夏服の襟元のセーラーカラーは、後方は曲線を描き、柔らかい女性らしさを演出。襟と袖口のブルーのストライプ柄と、薄いブルーのボタンが爽やかな印象を与えます。